

無治療の白衣高血圧症、心臓血管リスク 2 倍に

診察時に血圧が上がる白衣高血圧が、長期的に心臓血管リスクを上昇させるかについては不明である。そこで本研究では、無治療の白衣高血圧と降圧治療を受けている白衣高血圧の心臓血管イベントのリスクおよび死亡率について検討した。

PubMedとEMBASEを検索し、白衣高血圧と心臓血管リスクに関して3年以上追跡している観察研究27件を抽出した。解析の対象となったのは、無治療の白衣高血圧群および降圧治療を受けている白衣高血圧群の25,786例と正常血圧群38,487例で、3年~19年追跡を行った。メタ解析の結果、無治療の白衣高血圧群では心臓血管リスクが上昇し、正常血圧群に対するハザード比は心臓血管イベントが1.36、全死亡が1.33、心臓血管死は2.09となった。一方、降圧治療を受けている白衣高血圧群の正常血圧群に対するハザード比は、心臓血管イベントが1.12、全死亡が1.11、心臓血管死で1.04と有意ではなかった。

したがって、無治療の白衣高血圧は正常血圧と比べ、心臓血管イベントや全死亡のリスクの上昇と関連することが示唆された。診察室外血圧モニタリングは高血圧の診断や管理に重要である。

出典:Annals of Internal Medicine. 2019 Jun 11. doi: 10.7326/M19-0223.